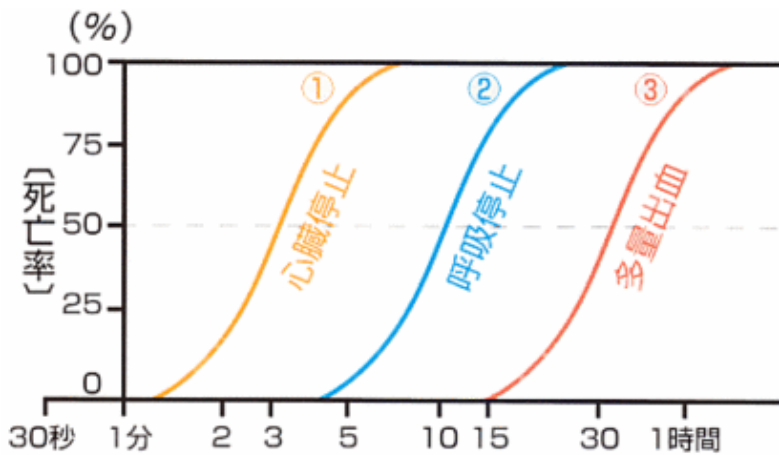


# 救急措置（AED）について

# 救命措置とは??

皆さんは職場で急に人が倒れたらどう対応するかイメージできますか??

救命措置とは、けが人や急病人が発生した時に救急車が到着するまで行う処置のことです。



- ① 心臓停止後約3分で50%死亡
- ② 呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③ 多量出血後約30分で50%死亡

心停止してから**すぐに救命処置を開始**することで、救命率が上がります!

救急車を呼んでから現場に到着するまでには**約8分間**かかります。この間に、ただちに心肺蘇生を始め、止まってしまった心臓の代わりに、脳や心臓に血液を送り続ける必要があります!



# 心肺蘇生の手順①

手順1

反応があるか確認



大丈夫ですか?  
あっ、反応がない!

何らかの「応答」や「しぐさ」がない

まずは大きな声で呼びかけて  
反応があるか確認します。

近くにいる人に、**119番通報**と、**AED**を持ってきてもらうよう頼みます。

手順2

119番通報と  
AEDの手配

あなたは119番通報して、  
救急車を呼んでください!

それから、あなたはAEDを  
持ってきてください!



手順3

呼吸を確認する



胸と腹部の動きをみて、  
普段通りの息が  
あるかないかをみる

正常な呼吸がない場合は…

正常な呼吸があるかどうか、  
胸と腹部の動きを見て確認します。  
呼吸の確認に迷ったら、すぐに  
胸骨圧迫をしてください!

# 心肺蘇生の手順②

手順4

ただちに心臓マッサージ（胸骨圧迫）を行う  
強く！速く！絶え間なく！

呼吸がないか、異常な呼吸（しゃくりあげるような不規則な呼吸）があるときは、  
ただちに心臓マッサージ

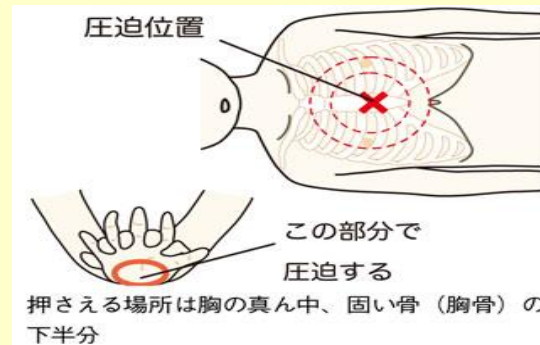


心臓マッサージをする場所は  
「胸の真ん中」が目安

- 胸骨圧迫の中断は**10秒を超えない**ようにしましょう！！

胸の真ん中（両方の乳頭の間）を、  
**強く、速く、絶え間なく**圧迫します！

- **100～120回/分**の速さで！
- 胸が**5～6センチ沈む**くらいの強さで！（**6センチを超えないこと！**）



- 圧迫後は、かかる圧を解除するため完全に元の位置に戻すよう力を抜いてください

AEDを使うときは周りの人に離れてもらうよう、  
**大きな声で**呼びかけましょう！

手順5

AEDが  
到着したら

AEDは、心停止した心臓に電気ショックを与え、心臓の拍動を正常に戻す救命器具です。  
電源をいれて（ふたを開けると電源が入る機種もあります）電極パッドを装着し、音声ガイドに従ってください。どなたにも簡単に扱えます。



❗ 除細動ボタンを押すときは、「みんな離れて」と声を出し、手振りも使って離れるように指示します。

電気ショック後、ただちに**手順4** 心肺蘇生を再開します

# AEDとは??

日本語では自動体外式除細動器といいます。

《使い方》

AEDの電極のついた  
パッドを体に貼る



AEDが自動的に  
心臓の状態を解析

電気ショックを心臓に与え、  
心臓の状態を正常に戻す

電気ショック後、直ちに  
**心臓マッサージ**を再開！

※音声ガイドが指示してくれます。

音声で案内し  
てくれるので、  
誰でも簡単に  
使用すること  
ができます！



# いざという時のために..

◆急病人がいつどこで発生しても対応できるよう  
心肺蘇生の手順は覚えておくようにしましょう！

◆職場から一番近くのAEDの設置場所は確認  
しておきましょう！



職場の見やすいところに、  
心肺蘇生の手順が載った  
ポスターを貼っておきま  
しょう！(クリックして印刷)

医師必読！  
**新しい心肺蘇生法 2015** 強く！速く！絶え間なく！

このたび、国際リベンジャーズ (ICoTR) とわが国のIC蘇生ガイドライン 2015に基づいて、「救急蘇生法の指針」が改定されました(国民版)。今後、これに基づいて、全国で講習が行われることとなりますので、ご了解を必ずお願いいたします。主な変更点とも解説いたしますので、参考にご覧いただけます。なお、これらの変更は、従来の方法を否定するものではありません。また、IC蘇生法に基づいてより効果的な方法に改定されています。

救命の連鎖 Chain of Survival

- 心停止の予防
- 早期認識と通報
- 一次救命処置(心肺蘇生法とAED)
- 二次救命処置(心肺蘇生法とAED)

① 主な変更点

心停止の確認	心停止かどうかの判断に自信が持てない場合も、心停止でなかった場合を恐れずに、ただちに胸骨圧迫とAEDの使用を開始する。
胸骨圧迫	①胸の約5cm深さのように正確にする。 ②胸骨に100〜120回/分のペースで圧迫する。 ③人工呼吸が停止など、胸骨圧迫を中断する時間は最小限にし、10秒を超えないようにする。
人工呼吸	人工呼吸の訓練を受けており、それを行う経験と自信がある場合は、胸骨圧迫と人工呼吸を30:2の比率で行う。
ファーストエイド	これまであった「救急手当て」が、急に救命手当てをした人を取り入れるためとなる最初の行動である「ファーストエイド」となり、新たな指針に基づいて、内容が刷新した。

※外部サイトが開きます  
[https://www.med.or.jp/99/new\\_teijun201607poster.pdf](https://www.med.or.jp/99/new_teijun201607poster.pdf)

目の前で人が倒れた時、周りに居合わせた人が、いかに迅速に  
動けるか、AEDを使えるかで**その人の生死が決まります！**  
目の前で人が倒れたらびっくりしてしまうと思いますが、  
勇気を出して「**とっさの対応**」をしてください！！  
心停止の判断に難しい場合は、迷わず**119番通報で電話を  
切らずに指示を仰ぎましょう。**

# 《出典》

- ・日本心臓財団HP

<http://www.jhf.or.jp/>

- ・日本医師会HP

<http://www.med.or.jp/99/>

- ・日本光電HP

<http://www.nihonkohden.co.jp/index.html>

- ・フクダ電子HP

<http://www.fukuda.co.jp/aed/>

- ・日本蘇生協議会HP

<http://www.japanresuscitationcouncil.org/>

さらに詳しく知りたい方は  
こちらを参考にしてください！

